

## 第10回 CISPRJ電波雑音委員会 議事要録

1. 開催日時:2023年5月17日(木) 14:00~15:00
2. 開催場所:(一財)VCCI協会 5階 A・B会議室/オンラインでのハイブリッド会議
3. 出席者:(順不同、敬称略) 委員22名(委員長への議決委任5名を含む)  
参加13名、事務局2名  
会議中は、終始、双方向の意思伝達に問題はなかった。

### <委員>

徳田委員長<東京大学大学院>	山下副委員長<一般財団法人 電気安全環境研究所>(Web)
上田委員<一般社団法人 インターホン工業会>(Web)	笠井委員<超音波工業会/高周波機械工業会>(Web)
安江委員<電気事業連合会>(Web)	中森委員<一般社団法人 電子情報技術産業協会>(Web)
加藤委員<一般財団法人 電波技術協会>(Web)	浅見委員<一般社団法人 日本アミューズメント産業協会>(Web)
今泉委員<一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会>(Web)	高岡委員<一般社団法人 日本照明工業会>
阿部委員<一般社団法人 日本配線システム工業会>(Web)	久保委員<日本放送協会>
大浦委員<一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会>(Web)	土屋委員<一般社団法人 日本陸用内燃機関協会>
福田委員<一般財団法人 日本冷凍空調工業会>(Web)	川脇委員<一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会>(Web)
堀委員<一般財団法人 VCCI協会>(Web)	

### <欠席> 欠席委員5名(内、委員長への議決委任5名)

松山委員<一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター>	三塚委員<一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター>
前川委員<一般社団法人 日本電機工業会>	井熊委員<一般財団法人 日本品質保証機構>
山下委員<株式会社 UL Japan>	

### <参加>

神沢 <経済産業省 製品安全課>	大池 <経済産業省 製品安全課>
遠藤 <経済産業省 製品安全課>(Web)	
今泉 <総務省 電波部電波環境課>(Web)	下谷 <総務省 電波部電波環境課>(Web)
木村 <総務省 電波部電波環境課>(Web)	
北島 <独立行政法人 製品評価技術基盤機構>(Web)	中野 <一般社団法人 日本電機工業会>
廣瀬 <一般社団法人 日本電気協会>	
小田 <一般財団法人 VCCI協会>	長部 <一般財団法人 VCCI協会>(Web)
島先 <一般財団法人 VCCI協会>	重光 <一般財団法人 VCCI協会>

### <事務局>

星野 <一般財団法人 VCCI協会>	村松 <一般財団法人 VCCI協会>
--------------------	--------------------

### 4. 配布資料:

資料0	第10回 CISPRJ電波雑音委員会 議事次第
資料1	CISPRJ電波雑音委員会 委員名簿
資料2	令和4(2022)年度 CISPRJ電波雑音委員会 事業報告(案)
資料3	令和5(2023)年度 CISPRJ電波雑音委員会 事業計画(案)
資料4	CISPRJ 15:2017に関する正誤表
補足資料1	解釈別表第十二に関わる CISPR規格の発行・国内答申審議状況

補足資料2 CISPRJ 電波雑音委員会 ウェブサイト訪問件数 月別推移

補足資料3 CISPRJ 電波雑音委員会 ウェブサイトへの問い合わせ内容

## 5. 議事概要:

### 5-0: 開会

- ・徳田委員長ご挨拶の後、委員長が議長となり、審議に入った。

### 5-1: 定足数の確認

- ・第10回 CISPRJ 電波雑音委員会は、会議室への参加とオンライン会議を併用した審議にて開催することとした。
- ・本日の出席委員数について事務局より報告があった。出席委員数については、総数22名に対し、委員長を含む5名がVCCI協会への来協、オンラインでの出席12名、委員長への委任状提出5名を含む22名となっている。以上により、規約第9条にある全委員数の2/3(16名)以上の出席を充足しており、本委員会は成立していることが確認され、議事を進めた。

### 5-2: 議事次第及び配布資料の確認

- ・事務局より、議事次第及び配布資料について、3件の審議事項と4件の報告事項について確認がされた。

### 5-3: 電気用品安全法に関する最近の動向について

経済産業省 製品安全課 神沢様より、電気用品安全法に関する最近の動向として、電気用品安全法に関する技術基準解釈別表第十においては CISPR 規格に準拠した規格を順次取り込んでいるところである。残り 350 程度の品目があるが、これについても CISPR 規格を取り込んでいく予定であり、引き続き委員の皆様のご協力をお願いしたいとの話があった。

### 5-4: 報告事項1

#### CISPRJ 電波雑音委員会委員交代について

- ・事務局より、資料1に基づき CISPRJ 電波雑音委員会の委員交代について、日本放送協会の山崎様から久保様への交代の報告があり、承認された。その後、久保様よりご挨拶いただいた。

#### 第9回 CISPRJ 電波雑音委員会議事要録について

- ・事務局より、第9回 CISPRJ 電波雑音委員会議事要録(案)については、2022年5月26日に、委員の皆様にご確認いただいた結果、ご意見はなかった。委員長のご承認をいただいた後、CISPRJ 電波雑音委員会のウェブサイトに掲載しているとの報告があった。

### 5-5: 審議事項1

#### 第一号議案 令和4(2022)年度 CISPRJ 電波雑音委員会 事業報告(案)について

- ・事務局より、資料2に基づき説明がされた。

#### ア. 令和4(2022)年度に開催した委員会における主な報告・審議内容

令和4(2022)年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5月26日(木)に、オンライン会議を主体とし、一部の方が会議室への参加にて1回開催した。

イ. 委員長、副委員長の互選については、委員長として徳田委員、副委員長として山下委員に継続してご就任いただくこととなった。

#### ウ. 総務省情報通信審議会答申について

「技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表2 雑音の強さに関する基準」に関わる総務省情報通信審議会答申については、新たな答申はなく、当委員会で整合規格案の審議はされなかった。

#### エ. 整合規格への採用について

既に整合規格に採用されている CISPRJ 15 及び CISPRJ 32 は、本年度の改正はなかった。

また、本年度は、新たな CISPRJ 規格の作成がなく、新たな整合規格への採用はなかった。

オ. 委員会への団体の入退会について

本年度は、団体の入会はなかった。

本年度は、団体の退会は 1 団体であった。

- ・資料 2 に対する意見はなく、承認された。

#### 5-6: 審議事項 2

第二号議案 令和 5 (2023) 年度 CISPRJ 電波雑音委員会 事業計画 (案) について

- ・事務局より、資料 3 に基づき説明がされた。

ア. 委員会の活動として、CISPRJ 電波雑音委員会は、年 1 回の開催を予定。

イ. 令和 5 (2023) 年度は、「技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表 2 雑音の強さに関する基準」に関わる総務省情報通信審議会答申については、新たな答申が発行された場合、対応する整合規格の原案作成を行う。

- ・資料 3 に対する意見はなく、承認された。

#### 5-7: 審議事項 3

第三号議案 CISPRJ 15:2017 に関する正誤表について

- ・高岡委員より、資料 4 に基づき説明があった。下記、イ項の修正を条件に、正誤表は承認された。なお、6/1 に開催される解釈検討第 2 部会にて高岡委員より正誤表について報告することが確認された。

ア. CISPRJ 15:2017 に関する正誤表を発行するに至った経緯は、昨年度電気用品安全法の改正があり、解釈別表第十で照明器具に関する技術基準は解釈別表第十二を参照することとなり、規格について多数質問が寄せられるようになった。そのため、日本照明工業会としての見解を再確認している過程で、CISPRJ 15:2017 を全般的に見直したところ、3 件の誤記が判明した。このため、本日の委員会で報告することとなった。

イ. 修正案「図 5 の下の図」については、「図 5 の下側の図」にしたらかの提案があり、審議した結果「図 5 の下側の図」の方が分かりやすく、提案通り修正することが承認された。

ウ. 正誤表については委員会規格と同様に入手できるのかとの質問があり、CISPRJ 電波雑音委員会ウェブサイトを示し、委員会規格にある「CISPRJ 15:2017」の下側に「CISPRJ 15:2017 に関する正誤表」を掲載することを提案し、了承された。

#### 5-8: その他事項 1

解釈別表第十二に関わる CISPR 規格の発行・国内答申審議状況について

- ・事務局より、補足資料 1 に基づき、以下の説明がされた。

ア. 解釈別表第十二に関わる CISPR 規格の発行・国内答申審議状況として、令和 5 (2023) 年度の答申審議の会議体設立は、現在のところ予定はない。

#### 5-9: その他事項 2

平成 29 (2017) 年度から令和 4 (2022) 年度の CISPRJ 電波雑音委員会のウェブサイト訪問件数月別推移について

- ・事務局より、補足資料 2 に基づき、以下の説明がされた。

ア. 令和 4 (2022) 年度の当委員会ウェブサイト訪問件数は、月平均 1,212 件/月であった。これは、年間を通して 1,000 件以上であり、多くの方が閲覧されていることを報告。

イ. 令和 2 (2020) 年度からウェブサイト訪問件数が急激に増加している要因は何かとの質問があり、

令和2(2020)年度にJ55013及びJ55022の有効期間が切れたためとの説明がされた。

#### 5-10:その他事項3

令和4(2022)年度 CISPRJ 電波雑音委員会 ウェブサイトへの問い合わせ内容について

・事務局より、補足資料3に基づき、以下の説明がされた。

ア. CISPRJ 15:2017については7件、CISPRJ 32:2017については2件の問い合わせがあった。なお、CISPRJ 15:2017については、製品の対象/非対称、許容値及び規格内容に関する問い合わせが多くあった。

#### 5-11:その他

- ・経済産業省 製品安全課 神沢様より、発行済みの規格について誤りが見つかった場合は、今回同様、気がついた段階で迅速に訂正することが大事であるとのコメントがあった。
- ・総務省 電波部電波環境課 今泉様より、総務省情報通信審議会答申については、今後とも進めていくのでよろしくお願ひしたいとのコメントがあった。

#### 5-10:閉会

以上で、第10回 CISPRJ 電波雑音委員会を終了した。

—以 上—